

震災問題研究ネットワーク
活動記録

2017年～

2018年3月23日	<p>第4回震災問題研究交流会を開催。会場：早稲田大学戸山キャンパス 報告26本。参加者68名。1) 津波被災地における災後の社会課題の推移、2) 原発事故をめぐる社会的推移と対応課題、3) 災害時の自治体—住民—ボランティア活動の連携の可能性、4) 災害と社会との対話の諸相、の4つのセッションを設ける。</p> <p>第4セッション後、震災問題研究ネットワーク会議を開催。 参加者18名。1) 第3回東日本大震災研究交流会研究報告書の掲載、2) 第4回東日本大震災研究交流会研究報告書の原稿募集、3) 第5回東日本大震災研究交流会の日程と準備、4) 次回以降の編集体制と報告書のあり方、5) ネットワークの組織体制と連絡体制、について検討を行った。</p>
2018年3月2日	『第3回東日本大震災研究交流会研究報告書』を発行。
2017年11月3日	<p>拡大幹事会を開催。会場：早稲田大学戸山キャンパス 参加者13名。1) ネットワーク内の研究グループと役割分担、2) 第4回研究交流会の名称と日程等、3) 第4回研究交流会までの準備等、4) 今後の進め方（組織体制と情報連絡体制など）、について検討を行った。</p>
2017年3月10日	<p>第3回東日本大震災研究交流会を開催。会場：早稲田大学戸山キャンパス 報告25本。参加者64名。1) 原発災害をめぐる諸課題、2) 防災上の課題と公的セクターの役割、3) 災害過程の健康維持とメディアの可能性／農業復興、4) 住宅再建・災害復興をめぐる活動と課題、の4つのセッションを設ける。</p> <p>第4セッション後の意見交換会にて、研究交流会開催の主体を「震災問題研究ネットワーク」として行うこととし、いままでの体制を発展的に継承することとした。</p>

東日本大震災研究交流会の活動記録（実施主体：震災問題情報連絡会）

2017年3月	『第2回東日本大震災研究交流会研究報告書』を発行。
2016年3月	<p>第2回東日本大震災研究交流会を開催。会場：明治学院大学白金キャンパス 報告24本。A 社会心理・災害弱者・災害支援；B 地域社会・原発・社会運動；C 研究課題・研究動向の3部会を設置。</p>
2015年9月	『東日本大震災研究交流会研究報告書』を発行。
2015年3月	<p>第1回東日本大震災研究交流会を開催。会場：明治学院大学白金キャンパス 報告19本。A 情報・アーカイブ、社会心理、原発；B 緊急対応・防災；C 復興の3部会を設置。</p>
2015年1月	日本社会学会を通じ、東日本大震災研究交流会開催を告知し、研究発表を募集。
2014年11月	日本社会学会大会（於、神戸大学）後、震災問題情報連絡会の会議にて、研究交流の場を設けることを決定。